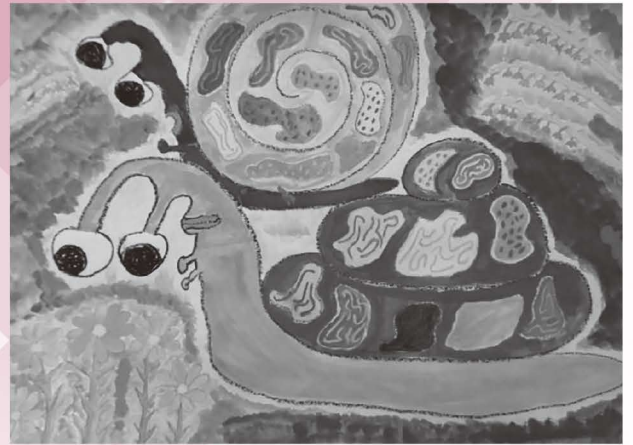




恵那市教育研究所
<http://www.ena-gif.ed.jp/>

恵那市長島町正家一丁目1番地1 恵那市役所西庁舎4階
TEL (0573) 26-2111 FAX (0573) 26-2155

「相談するでんでん虫」

岩邑小学校 5年生 服部 晃士

見えないものが見えてくること

恵那市教育委員 樋田 千史



5月15日に恵那市立大井第二小学校へ東濃教育事務所管理訪問・恵那市教育委員会教育長訪問に同行させていただきました。5月のこの時期は新学期の始まりとして、学業指導で定着させたい事柄が多くある時期であります。1年生から6年生の授業の様子や休み時間などの様子を見ていましたら立ち居振る舞いのよさを散見することができました。学年の成長段階がよく分かります。これは今までの学校のスタイルが各学年で見事に引き継がれているからでしょう。発達段階に即した学年経営の賜と感じました。その根元には学校経営の施策と具体的な指導があるからこそだと思います。

学業指導では学習の成立に対して基本的なことを指導していきます。それぞれに意味があります。「はい」の返事は、呼ばれた人に聞こえるように「はっきりくっきり美しく」返すことが求められます。「もっと大きな声で」と諭しても抵抗のある場合があります。その子の特性を捉えていることが肝心です。席を立ったら椅子を中に入れることの意味を知らせることも大切です。急な避難の時に邪魔にならないように安全に行動に移すことができるためです。また、「チャイムが鳴ったら黙る」これは緊急放送に合わせてまず聞くことが求められます。など数多くある中であわせて指導すると不信にもつながることがあります。

全体指導の場でこんな話をしました。

掃除をしているとゴミを見つけてまずとります。で

もよく見ると思わぬ所にゴミの存在を見つけることができます。それは目線を下げてみると発見できることがあります。小さなゴミも見つけることができます。昼の目も同様に見えてきます。

つまり、教師も目線を少し下げてその子の特性をつかむことで指導が成立していくことがあります。一方的な言葉掛けでは伝わらないことが多くあります。一度話して理解でき行動に移すことができる子もいれば、何度話しても理解も行動も伴わない子がいます。大きな声や怒鳴り声では通じないことがあります。

特性を捉えるとは、その子がもつ力を見抜くことです。どのようなときにどんなことするのか言うのかを見ていきたいものです。状況と行動を分析してその子がもつ力を読み取り、指導に生かしていきたいと思えます。一つの情報では不確かなものになりがちです。固定概念に定着しないためにもいくつもの情報を得ていくことです。



ふるさと教育 特集

ふるさとを愛し、ふるさとを大切にする 武並の子を目指して

武並小学校

武並小学校ではふるさと教育を通して、地域の様々な特色や人々とのつながりを大切にしてきました。そうしたつながりの中で、子供が地域に生きる人の思いや何気なく目にしてきたものの意味を感じ取り、ふるさと武並に愛情を深めていきます。ここでそのいくつかの活動例を紹介します。

野菜づくりを通して

本校では、地域のお年寄りを「畑の先生」としてお招きし、野菜づくりを通して親交を深めています。

1・2年生は、春にサツマイモの苗を植え、秋になると皆さんと一緒に収穫をし、「焼き芋パーティー」を実施します。一緒に焼き芋を頬張る子供たちの様子はとても幸せそうです。

サポート学級では、キュウリやトマト、トウモロコシなどの野菜づくりを一緒に行います。昨年度は秋の青少年ふれあい祭りの会場で、収穫した野菜と地域の方が持ち寄ってくださった野菜を、地域の方と一緒に販売することにも挑戦しました。子供たちが代金を計算し、買ってくださる方からお金を受け取る姿を、皆さんからほめていただいたことが、子供たちの笑顔と自信につながりました。

伝統文化・歴史を通して

6年生は地域の伝統文化「道笛」を、保存会の方に教えていただきます。「道笛」は武並町藤地区の秋のお祭りの場で披露されてきたものです。楽譜がないこの「道笛」は、人から人へ脈々と受け継がれてきました。コロナ禍で一度は披露をする機会が途切れましたが、昨年度は、武並町文化発表会で町民の皆さんに披露することができました。

道笛の活動を終えたある児童が、振り返りの中で次のように述べています。

「地域の方から教えてもらった道笛を、武並小学校に入学してくる妹に今度は私が教えてあげたい。」

過去に人々が創り上げてきた故郷の財産を、次代へ引き継ぐ心を育む教育を、今後も武並小学校の大切な柱としていきたいと考えます。

この他にも6年生は、中山道の学習を通して地域の歴史を学んでいます。これは、中山道保存会の方々の

ご協力により、実際に武並の中山道を歩きながら説明をお聞きするものです。熱心にお話をしてくださる姿に触れることで、幼い頃から見慣れた風景の価値を学ぶと同時に、地域の方々の中山道を大切にする心を知る機会となっています。

地域防災を通して

本校では、年に2回の防災スクールや9月の恵那市総合防災訓練を通して、地域の方々と一緒になって防災について学んできました。昨年度の防災の日には、武並振興事務所や市役所危機管理課、防災研究会、地元自治会、消防団等の皆さんと共に、「避難所設営訓練」を行いました。武並小学校の体育館に、受付、避難者スペース、障がい者・車いすスペース、高齢者スペース、授乳・おむつ交換スペース、キッズスペース等、大人と小学生が一緒になって設営する活動です。子供たちは、1年生の時から年に2回取り組んできた防災スクールの経験を生かし、大人と力を合わせて積極的に活動に取り組む事が出来ました。更に6年生は、この取組で感じた「避難所の改善点」についてクラスで話し合い、それを代表のメンバーがプレゼンにまとめて、市の「児童・生徒が考察する快適な避難所設営モデル事業」の場で自分たちの考えを提案しました。こうした機会を通して、地域を大切にする心と地域の一員として自覚をもつことができるようになってきました。

このように故郷の自然、歴史・文化、防災などのふるさと学習から、子供たちは地域への愛情を深め、これからの武並を守る担い手としての自覚をもつことにつながると信じます。





岩村の魅力を発信したい

岩邑中学校

岩村藩輩出の偉人から学ぶ

本校のふるさと学習では、岩村藩が輩出した偉人のうち『佐藤一斎先生』と『下田歌子先生』について学ぶ機会を設けています。

一斎先生については、小学校の時から「言志四録」を中心にその教えについて学んでおり、教えのいくつかの意味を理解し、暗唱できるようになるまで取り組んできました。また、歌子先生については、東京にある実践女子学園の生徒との交流行事があり、その中で互いに歌子先生について交流する機会を設けています。



今年度も3年生の生徒が2日間に分けて300名ほどの実践女子学園の生徒に岩村や歌子先生について説明をしました。

(1) 生誕250周年記念事業への参加から

昨年度は、佐藤一斎先生生誕250年のメモリアルイヤーで、恵那市では嚶鳴フォーラムが開催されました。その中で、本校3年生が記念グッズの製作・販売に関わる機会をいただきました。「記念になるもの」、またご当地である「恵那をアピールするもの」にするため、どのようなものを記念グッズとするのか話し合いを重ねました。

商品を取り扱う企業の担当の方、記念事業担当の方とも相談を重ね、一斎先生の教えを取り入れた3つの商品を製作することになりました。

記念グッズは「多機能ボールペン」「絵皿・湯飲み」「最中」と決まり、商品には生徒の手による添え書きが付けられました。

嚶鳴フォーラム当日は生徒が販売に当たり、多くの来場者に手にしていただきました。

商品開発から販売まで手がけることで、一斎先生の教えだけではなく、より多くのことを体験を通して学ぶことができました。



(2) 「一斎かるた(仮称)」の制作

今年度は伊藤財団より支援をいただき、一斎先生の教えをかるたにする活動に取り組んでいます。読み札、取り札、そこに描かれる挿絵などについて、3年生生徒の実行委員を中心に話し合いを進めています。他地域のかるたを参考にしながら奮闘を続けていきます。完成が楽しみです。





チャレンジしよう!

教育実践研究論文

恵那市の先生方は、「ICTの効果的な活用」「指導と評価の一体化」を意識した授業改善、学級経営等素晴らしい実践をしてみえます。実践だけで終わらせることなく、論文としてまとめてみましょう。自分の教育実践を「教育実践研究論文」にまとめると、次のような良い点があります。

- 課題意識をもって、教育実践に臨むことができる。
- 教育実践をまとめる過程で、成果や課題が整理される。
- 自分の教育実践が形として残る。



教育実践論文に取り組むことで、授業を見直すことができるだけでなく、確実に、**実践的指導力**が高まります。

選考の観点

次の観点を踏まえて、実践を振り返り、まとめることが大切です。

- ❓ **観点1** 教育の今日的な課題を踏まえ、解決の方向が明確になっているか。
- ❓ **観点2** 願う児童生徒の姿、指導意図、指導方法等は明確になっているか。
- ❓ **観点3** 児童生徒の成長や変容の姿がよく表れているか。
- ❓ **観点4** 研究及び実践内容に創造性・妥当性が見られ、説得力のある論文であるか。

温 ONKOCHISHIN
故知新★

心に残る遊び・授業・先輩・職員

自分の中に息づく母校

上矢作小学校 校長 細江 幸次



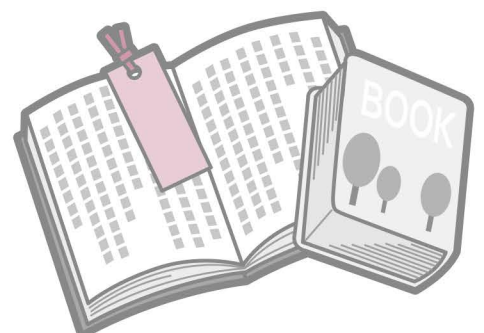
今年度、この私もいよいよ節目となる年齢を迎えました。奇しくも今年3月末日で私が卒業した小学校と初任者として勤めた小学校が学校統合に伴い、閉校となってしまいました。一抹の寂しさや喪失感は何論ありますが、次のよう

なことを考えるようにもなりました。

小学校低学年では担任が図書主任だったこともあったか、たくさん本を読むように指導されました。また、作文指導も熱心にしていただいた記憶があります。そのためか、文章を読むこと、書くことに抵抗感のない今の自分の礎になっていると感じます。中学年では小中通して唯一、学級通信を出していただきました。学級の仲間が主体となって〇〇大会などの学級行事を立案・実行して、そのことを記事にしてもらい、よさを認めていただいたことがすごく嬉しかったことを覚えています。高学年ではグループ学習を中心に教え合いながら学習を進め、担任の先生から一方的に教えてもらう授業の記憶は全くありません。初任校では

県下でもいち早くコンピュータが導入され、C A I（コンピュータ支援授業）を核とした算数の主題研究に明け暮れました。

私自身の懐かしい昔話といってしまうかもしれませんが、そのいずれの取組も学校現場の今日的課題として現在進行形で取り組まれているものではないでしょうか。当時の学校の先生方の先見の明と指導の確かさを感じずにはいられません。形としての母校はなくなりましたが、私の中に母校は確実に息づいていると感じています。





『これやりたい！』笑顔いっぱいの毎日を願って ～わらべうたあそびを通して～

大井こども園

大井こども園は恵那市の中心部に位置し、近くには明知鉄道が走っています。入園当初には泣いている子どもこの明知鉄道の姿に癒されているような環境です。

大井こども園では『わらべうたあそび』を保育に取り入れ、人とかかわりを深め、体を動かし、友達と一緒に遊ぶことで園生活が楽しくなることを願っています。『わらべうたあそび』とは子どもたちの日常生活や遊びの中で継承された歌であり、あそびでもあります。大井こども園では特色ある園活動として『わらべうたあそび』を核にし、25年程経ちます。まさに大きい子から小さい子へ、そして大井こども園に関わる保護者や職員たちにも伝承されています。

1. わらべうたの良さ

- ・人と触れ合う
- ・単純であったり繰り返しであったりするので親しみやすい
- ・リズムや歌があり口ずさめる
- ・集団でも遊べ、少人数でも遊べる
- ・遊び方やルールが変更でき、自分たちで考えることができる
- ・友達と相談したり作戦会議が出来たりする等があげられます。



大井こども園は3歳児からの入園となります。入園してきた『はじめまして』のお友だち。呼び方は「あの子」「この子」「このお友だち」。わらべうた遊びの中には相手の名前を呼ぶものがあります。また、円になればみんなの顔が見えます。そのような遊びを活かして遊ぶうちにお友だちの名前を覚えることができました。



2. 伝承されていくあそび

『毎週水曜日はみんなでわらべうたあそびをしよう！』を実施しています。各クラスで遊んでいるあそび、そして何年も引き継がれているあそびを全園児で楽しみます。鬼ごっこでは最初の頃は年長さんのお当番さんが鬼をしてくれました。わらべうたで掛け合いをします。掛け合い後陣地から陣地へ逃げる間に鬼が捕まえに行きます。鬼の年長さんは張り切って陣地を飛び出していきます。小さい子ならあつという間に捕まえられのに、小さい子を避け、狙う相手は同じ年長さん。これもきっと自分たちが小さいときにお兄さんお姉さんがしてくれた姿だったのでしょうか。それでもこれは鬼ごっこ。もちろん捕まります。すると「鬼はいやだ～」と怒る！泣く！はもちろん起こります。



それでも何度も遊ぶうちに、鬼の楽しさも味わったり、鬼がいて遊びが成立することを理解したりしていきます。

また、遊び方の工夫として、復活できるような仕組みで楽しむこともあります。チーム戦となれば作戦会議が行われる遊びもあります。みんなで肩を組み年長さんを中心に「ああしよう」「こうしよう」と始まります。小さい子も「うんうん」と頷き、「エイエイオー！！」で団結します。うたや遊び方が受け継がれるのはもちろんのこと、声を揃えて歌う心地良さや相手を思いやる気持ち、チームで力を合わせる喜びなど、わらべうたあそびを通して、人と人とかかわりから感じられる心が育ち、受け継がれていくことを願います。





恵那市のALT (2023年9月現在)

恵那市教育研究所

①恵那市の勤務 年目 ②大学で学んでいたこと ③得意なこと ④好きなこと ⑤一言メッセージ

マジック マジック ブランドン ジョセフ JETプログラム Magick Brandon Joseph  出身地 アメリカ合衆国 担当校 岩邑小・中野方小 飯地小・恵那北小 恵那北中 ①2019年7月から恵那市で勤務 5年目 ②人類学(文化学、言語学など)、日本語 ③長い時間、カラオケをすること ④旅行、ラーメン屋めぐり、料理、音楽 ⑤恵那は本当に特別な街ですね。毎日、学校を楽しみにしています。	アンドリュー ダンロップ アンドリュー リック JETプログラム Dunlop Andrew Rick  出身地 オーストラリア 担当校 明智小・東野小 明智中・大井小 ①2022年4月から恵那市で勤務 2年目 ②教育学、歴史(戦国時代、古代ローマ専門)、日本語 ③辛いものを食べること ④登山、ゲーム、アニメ、旅行 ⑤レッツ ゴー ハイキング
ライアン ワトリング ライアン ジェイミー JETプログラム Whatling Ryan Jamie  出身地 イギリス 担当校 恵那西中 長島小 ①2023年4月から恵那市で勤務 1年目 ②政治 ③ハーフマラソンを走ること ④ランニング・ハイキング・旅行・チェス ⑤日本語の勉強を頑張ります。	リンジー ランプ リンジー ニコル JETプログラム Lamp Lindsay Nicole  出身地 アメリカ合衆国 担当校 恵那東中 大井第二小 ①2023年8月から恵那市で勤務 1年目 ②心理学とアジア研究 ③料理と美術 ④ゲームが好きです。日本語を勉強することも楽しいです。 ⑤美しく素晴らしい街、恵那市で働くことがすごく楽しみです。
マテオ ロメロ マテオ ニコラス JETプログラム Romero Mateo Nikolas  出身地 アメリカ合衆国 担当校 串原小・串原中 上矢作中・上矢作小 三郷小 ①2023年8月から恵那市で勤務 1年目 ②コンピューターサイエンスと言語学です。 ③バイオリンとピアノ、プログラム、絵を描く ④動物、音楽、ジャズ、料理を作る ⑤日本はとても暑いですが、ここに住んでいることが楽しいです。	ミラー ミラー ダグラス ルイス JETプログラム Miller Douglas Louis  出身地 イギリス 担当校 岩邑中・山岡中 武並小・山岡小 ①2023年8月から恵那市で勤務 1年目 ②哲学 ヨーロッパ文学 ③サッカー ④読書 ⑤日本語勉強中です。よろしくお願いします。

中学校総合体育大会 (中体連) 恵那市大会の結果

恵那市教育研究所

大会結果【個人】

種 目		優 勝	準優勝	3 位	
ソフト テニス	男 子	山崎隼人	西山夏輝	土屋匠之介	伊藤誠規
		佐藤生琉	杉村朔弥	坂 翔太	森 兜馬
	女 子	恵那東	恵那東	恵那東	恵那東
		洞田愛空	熊崎 麗	酒井悠衣	小島明愛
卓 球	男 子	河村はな	小池梨咲	小池ひよ莉	柘植真衣
		恵那西	恵那西	恵那北	恵那北
	女 子	篠原煌星	後藤汰来	小櫃 良	中村史羽
		恵那東	明智	明 智	恵那西
剣 道	男子	鈴木瑠菜	古山真凜	水野 結	伊藤咲穂
		恵那東	恵那東	恵那東	恵那東
		1 年	山田昂来	河合航大	高畠大登
		恵那北	明智	恵那西	
		2 年	丸山昊希	水野奏人	梅田秀康
		恵那東	恵那西	恵那東	
	女子	3 年	石丸煌紫	林定太郎	大江文徳
		恵那東	恵那東	恵那北	中山敦博
		1 年	岩下心々彩	丸山琴音	浅谷 翠
		恵那西	恵那西	恵那北	
		2 年	高畠ななみ	原莉央奈	可知秋乃
		恵那西	恵那東	恵那東	
	3 年	笠木葉月	中山 楓	小栗優璃	江連 優
		恵那西	恵那西	恵那西	恵那東

大会結果【団体】

種 目	優 勝	準優勝	3位
野 球			
ソフトボール			
バスケットボール	男子	恵那西	山岡
	女子	恵那西	明智・山岡
バレーボール	男子	恵那西	恵那北
	女子	恵那東	岩邑・恵那西
ソフトテニス	男子	恵那東	明智
	女子	恵那西	恵那北
卓 球	男子	恵那東	明智
	女子	恵那東	恵那北
剣 道	男子	恵那東	恵那西
	女子	恵那西	恵那東